学校だより西丸子   １１月号

令和８年１０月２８日（水）川崎市立西丸子小学校

協働で高まる力、個に寄り添う力

西丸子小学校長　吉村　あかね

秋一色に染まるような、気持ちの良いお天気が続いています。西丸子小の子ども達は、勉学に、スポーツに一生懸命取り組んでいます。

１年生は６年生と一緒に秋の多摩川で虫探しをしました。２年生は、これから商店街へ町探検に行く計画がスタートし、地域の方々にお世話になります。３年生は、前期から総合的な学習で調べてきたお祭りを自分たちでもやってみようと企画し、お神輿を担いで医大モールを練り歩きました。商店会長の小野理容店さんをはじめ、商店街の方々、応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。４年生は、６年生が創り上げてくれている運動会のテーマのもと自分たちで工夫できることを考え、実行しています。５年生は、これまで自分たちで育て方を調べ、大切にお世話してきた稲を刈り取りました。原さん始め、ＪＡの皆様にはまたまたお世話になりました。お手伝いしてくださった保護者の皆様、ありがとうございます。また、自校献立に川崎産米を寄贈してくださる農協青年部の田んぼとオンラインで繋がり交流もしました。センター級では、中原区文化協会の皆様に譲っていただいた紅花の抽出液で紅花染めを体験しました。来年は自分たちで紅花を育てて花を摘み、染め物をやることを楽しみにしています。協会の皆様には引き続きお世話になります。

６年生は今、自分たちで企画・運営する運動会に全力で取り組んでくれています。11 月の本番に向けて、準備も終盤に向かっています。新しいことにチャレンジするときは、皆の思いの足並みが揃わず、それが障壁となってなかなか思うように物事が進まないことがあります。自分の分担を頑張るだけでなく、企画者の意図を組んだり、自分でない人の様々な思いをすり合わせたりして一つの取り組みを進めていくのは、とても難しい面もあります。それでも子ども達の様子をみていると、運動会を楽しもうという一つの目標に向かって、それぞれの立場で知恵を出し合い、相手の思いを想像しながら工夫していこうとする姿がたくさん見られます。素晴らしいことだと思います。これこそが、いま求められている学力観、主体的・探究的に学ぶ力に繋がると感じています。初めての試み、見栄えが悪いところもあるかもしれません。しかし、子ども達が自分たちで創り上げようとしている頑張りを、ぜひ応援していただきたいと思います。

そして、様々な理由でその一体感に乗れないお子さんもいます。そんな時、ふと立ち止まり、友達への心遣いができるような素敵な場面もありました。学校を休んでいるクラスメートの様子を気遣い、「体調どうかなあ」「元気になったら、自分たちがダンスを教えてあげよう。連絡してみようか。」などと、友達同士で話している場面があったそうです。そんな暖かな会話のおこる教室。そしてそれをキャッチした担任。きっとしばらく休んでいたお子さんも、久しぶりでも戻りやすい教室なんだろうと想像できました。全体の力で伸ばせる力と、一人一人に寄り添った支援の両輪で子どもを見守ることの大切さを改めて感じています。そんな人間力にあふれた西丸子小学校でありたいと思います。